

合唱いばらき

第65号

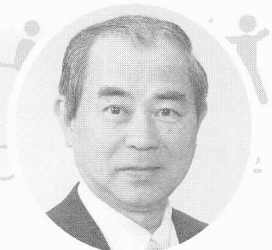
2018年4月

茨城県合唱連盟

編集：事務局

茨城での大きな行事に向けて

理事長 打越 孝裕



本県では来年度に「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会」の開催を控えています。開会式では150名規模の混声合唱団が式典を華やかに盛り上げる予定です。

さて、「国体」と言えば思い出すのが昭和49年に本県で開催された「水と緑のまごころ国体」です。開会式に向け、合唱も吹奏楽も現在とは比較にならない大編成が組まれましたが、それとともに記憶に残っているのが、それまで例を見ない壮大な行進曲「魁」です。この曲は当時茨城大学で教鞭をとっておられた浦田健次郎氏が、北海道から沖縄まで各都道府県の民謡を行進曲にしてつなぎ合わせた作品です。今、私の手元にはその行進曲「魁」を含めた昭和49年茨城国体の式典音楽を収録したLPレコード（CDではありません）があります。そのジャケットには鈴木良朝元理事長をはじめ、県合唱連盟をけん引してこられた先輩方の名前が記されており、とても感慨深いものがあります。今回の「ゆめ国体・ゆめ大会」でも「茨城らしさ」を全国にアピールできる曲が用意されているそうです。大会を成功に導くため、連盟の皆

様のご協力をお願いいたします。

今年度は3年ぶりに関東支部大会の主管が回ってきます。来年の3月9日（土）～10日（日）県立県民文化センターを会場に開催される第8回関東ヴォーカルアンサンブルコンテストです。1日開催で行われてきたこの大会ですが、昨年度（山梨県主管）より2日間開催となりました。多くのチームを迎えての大会運営は決して楽なものではないでしょう。しかし本県連にはこれまでも他県から高い評価をいただいている運営のノウハウと、何よりもチームワークがあります。出場する全ての団体が気持ちよく実力を発揮できる、そんな大会運営がきっとできると確信しております。

関東大会は主管県ということで、例年よりも県代表のチャンスが広がりますが、茨城県大会は「フェスタ」であり、関東大会出場を希望しない団体や連盟未加盟団体にもふるって参加していただきたいと希望しています。少人数でも「ハモる」ことを楽しんでいる人たちがいらしたら、ぜひお声をかけてください。

水戸の街に響け

300人の《第九》2017に参加して

常任理事 阿部 安喜子

以前、この第九を聴きに行った際、新聞社からインタビューを受け、「来年は是非歌う側で」と云ってしまいました。その時から十数年が過ぎてからの初参加となりました。

せっかく覚えた第九！忘れてしまったらもったいない。この辺で一度思い出しておかなくては。心細さで恐る恐る参加した練習も、打越先生の細やかでていねいなご指導と、堤先生のタイトでシャープなご指導、あっと云う

間の練習時間でした。

防寒対策も完璧に当日を迎えました。大勢の観客に見守られての演奏は、何か大きなものに包まれて歌っているような心地良さでした。やっぱり第九はいい！

「次回も是非歌う側で！」

